

つなぐ50年 輝く 未来へ~市制50周年~①

昭和45年に誕生した本市は、令和2年7月1日に市制施行50周年を迎えました。 記念事業は、来年度に延伸となりましたが、「新型コロナに負けない!50周年」 として市民の皆さまにメッセージを届けます。

問守山市制施行50周年記念事業推進委員会事務局(企画政策課内) ☎・貸(582)1162 ໝ(582)0539

制施行50周年記念誌」29ページには、市制施行50周年につなぐプレイベント「灯りでつなぐ、守山2019」の掲載があります。「灯りでつなぐ、守山2019」は、50周年を多くの市民の皆さまに周知するためのイベントとして、令和元年12月8日に開催しました。当日は、中洲小学校にある市内で一番高いメタセコイアに「夢」や「希望」を書いたメッセージカードを飾り付け、「メッセージタグの最大の展示」においてギネス世界記録に挑戦し、見事、認定されました。今回、このイベントにて、実行委員長を務めていただいた伊藤 五作さん (72歳) にお話を伺いました。

新型コロナに負けない!50周年

守山愛をあつめてギネスに挑戦

◇「灯りでつなぐ、守山2019 | を振り返って

50周年の節目に彩りを添える取り組みとして、想いや願い、未来におくるエールをメッセージカードに託し、子どもたちや市民の皆さんと世界記録に挑戦させていただきました。参画していただいた皆さんと共に力を合わせ、喜びを分かち合えることの素晴らしさを感じ、令和の始まりにふさわしい挑戦だったと思います。今回の取り組みで感じたことは、「守山」に共感し共有する、皆さんの愛の大きさでした。

◇今後どのようなまちになってほしいですか?

2020年は新型コロナウイルス感染症が広がり、これまでの生活やまちのあり方など、本当に大切なことは何かと気付かされる年となりました。守山を愛し、何かに挑戦しようとする想いを持てるまちづくり活動が、今後もますます活発になればと思います。このことが、まちを愛し、豊かさや誇りを感じられる「豊かな田園都市守山」につながっていくのではないでしょうか。

今回の挑戦が、守山への愛着と誇りを再認識する きっかけになり、"守山愛"が子どもたちにしっかり受け 継がれることを強く願っています。





当日は、51,626枚のメッセージカードが飾り付けられました。巨大なイルミネーションに集まったメッセージカードがきらきらと輝いて、師走の夜空を明るく照らしていました。

◀伊藤 五作さん

- ・「灯りでつなぐ、守山2019」ギネス世界記録挑戦 実行委員会 実行委員長
- · 市制施行50周年記念事業推進委員会 前委員長